

令和3年10月25日

九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 テニユアトラック助教 公募

九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所
所長 佐伯 修

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所では、下記の要領でテニユアトラック助教を公募します。関係各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募についてお取り計らいいただきますようお願いいたします。

記

1. 所属：九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所
2. 部門：産業数理統計研究部門(令和4年4月設置予定)
3. 専門分野：統計・データ科学、及び関連する分野
4. 公募人員：テニユアトラック助教1名
5. 応募資格：
 - (1) 博士の学位を取得していること、または採用時まで取得見込みであること
 - (2) 産業界、諸科学分野との連携活動に意欲があること
6. 職務内容：
 - (1) 専門分野における研究の遂行
 - (2) 産業界との連携活動の推進
 - (3) 諸科学分野との連携による融合領域研究の推進
 - (4) マス・フォア・インダストリ研究所が推進する人材教育活動への参画
 - (5) マス・フォア・インダストリ研究所の運営に関連する業務
 - (6) 大学院数理学府や理学部数学科専門科目の講義・演習指導、および研究指導の補佐(基幹(全学)教育・工学部の数学科目などを担当していただくこともあります)
7. 着任時期：令和4年4月1日以降できるだけ早い時期
8. 任期：採用日から令和9年3月末日の期間(ただし、定年は65歳)
※ 赴任後2年目終了までを目処に中間評価、さらに4年目終了時までにはテニユア審査を行い、審査に合格した場合は助教任期期間中、または任期期間終了後にテニユア教員(准教授)へ昇任する機会が与えられます。審査基準としては、研究内容や業績、教育実績、その他の実績(産学連携や学術コミュニティに対する貢献)、競争的資金の獲得状況、将来構想など、総合的に判断されます。

9. 応募期限：令和3年12月21日(火) 必着

10. 提出書類：

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績リスト(論文、著書、講演リスト、競争的獲得資金、受賞、特許など)、論文別刷(プレプリントを含む、5編以内)、その他、研究活動の実績を反映する資料など
- (3) 研究業績の説明、将来の研究計画(各々、A4版用紙2頁程度)
- (4) 産業界との連携活動に対する抱負(A4版用紙1頁程度)
- (5) ご本人について問い合わせることができる方3名の氏名と連絡先、およびそのうち1名からの推薦状(ただし、推薦状に関しては応募書類とは別便で推薦者の方が下記提出先に応募期限までにお送りいただくよう手配して下さい。ファックスによる推薦状は受け付けません)

11. 給与：年俸制(令和2年4月1日導入の年俸制)

12. 照会・書類提出先：

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

教員(テニュアトラック助教)候補者選考委員会 河原吉伸 宛

Email:kawahara@imi.kyushu-u.ac.jp、電話番号:092-802-4474

書類は郵送、もしくはオンラインで提出して下さい。

■ 郵送の場合

書類は封筒に「IMI 教員(テニュアトラック助教)応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送して下さい。推薦状は、推薦者から直接郵送していただくか、pdfファイルを上記照会先へ直接メールで送っていただけるように手配して下さい。

■ オンライン提出の場合

「10.提出書類」で指定された書類(推薦状を除く)をzip形式で固め、ファイル名は「申請者氏名(提出日 MM.DD).zip」の形とし、以下のURLからアップロードしてください。確認後、受領メールを数日中にお送りします。推薦状は、上記照会先へ、推薦者から直接郵送して頂くか、pdfファイルを直接メールで送って頂けるように手配して下さい。

<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/Ew68QAYJeoHAihAB8kd8a76gywPIMIsyyYxtlFjhjPi0>

13. その他：

- (1) 応募書類は返却致しませんが、選考終了後に裁断・消去の処分を致します。
- (2) 選考過程では、対面もしくはオンラインで面接審査を行う場合があります。対面の場合の交通費は原則自己負担とします。
- (3) 九州大学では、男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の精神に則り、選考を行っています。
- (4) 九州大学では、「障害者基本法」、「障害者の雇用の促進等に関する法律」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨に則り、選考を行います。

- (5) 九州大学では、国際化を推進する観点から、採用後に英語による授業実施に積極的に取り組むことを求めています。
- (6) マス・フォア・インダストリ研究所については、下記をご参照下さい。
<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>